



星さん（奥）の指導を受け、子どもたちが目標やイラストを書いた年賀状

年賀状は心を入れて

甲洋小児童が書き方学ぶ

おいらせ

おいらせ町の甲洋小学校（堤篤敬校長）の児童がこのほど、日本郵便の社員らから年賀状の書き方を教わ

った。はがきを受け取った親戚たちが喜ぶ様子を思い浮かべながら、新年の目標やカラフルなイラスト付きの年賀状を完成させた。

日本郵便東北支社の星尚

文さん、日本絵手紙協会公認講師の早坂陸子さんが仙台市から来校。この日は全学年を回り指導した。このうち2年生の教室では児童26人が星さんから、年賀状を送り合う文化は日本で千年以上前から続いていることを教わった。

吉田伊吹君は、おばあちゃんに宛てた年賀状に「綱跳びの（二重跳びをもっと跳べるようになる）」と目標を書いた。「今年はいつもよりたくさん年賀状を書きたい。先生にも出そうかな」と話し、そばにいた担任の先生を喜ばせていた。

児童たちの目標には他に「好き嫌いなく給食を食べる」「休まず学校に来る」などがあった。送り先の多くは、おじいちゃん・おばあちゃんだった。同校が日本郵便の「手紙の書き方体験授業」を活用し、2014年から実施している。

（寺沢龍哉）